



1年でJ1に復帰した2009年シーズンは3月7日開幕、リーグ5試合目の柏戦でJ1通算200勝を達成した。

トルコ、宮崎でのキャンプではトレーニングマッチを中心に戦術強化、レベルアップに励んだ。

開幕戦、横浜との戦いは爽快だった。目指す「人もボールも動くサッカー」が全開、4-2と会心の試合運びで白星スタートを切った。

地元での初戦は同15日。大宮をビッグアーチに迎え2万人を超えるサポーターが詰め掛けた。先手を奪ったが結局は転負け、地元開幕戦は飾れなかった。

続く鹿島戦は悔しい敗戦だった。後半、スタノフがPKを決めて追いつき引き分けかと思われたロスタイムに失点、2連敗となった。

G大阪にはいい形で戦いながら勝ち切れず引き分けたが、柏には地元サポーターを沸かせ、地元初勝利挙げると同時にJ1通算200勝を達成した。

ナビスコカップでは浦和を攻守に圧倒、佐藤寿のゴールで快勝した。浦和からの白星は1999年3月27日以来10年ぶり。リーグ戦と合わせ16試合ぶりの快挙。



# J1通算200勝達成

## 3季連続4強入り逃す



### ゴメス得点王

バレーボールのプレミアリーグは3月22日、レギュラーラウンドが終わり、JTサンダーズは14勝14敗、勝率5割で5位。3年続けて4強で争う決勝ラウンド進出を逃した。

	試	勝	敗	勝率	セット率
①サントリー	28	22	6	0.786	2.176
②東レ	28	20	8	0.714	2.000
③堺	28	15	13	0.536	1.167
④パナソニック	28	15	13	0.536	1.074
⑤JT	28	14	14	0.500	1.000
⑥豊田合成	28	12	16	0.429	0.879
⑦NEC	28	11	17	0.393	0.703
⑧大分三好	28	3	25	0.107	0.228

3年ぶりの決勝ラウンド進出、優勝を目指してスタートしたゴードン新体制だったが5位に終わり、またも復活はならなかった。

最後まで4強入りへ希望をつなぎ懸命な戦いを見せたが、要所での黒星が大きいのしかかった。また、序盤でリベロ酒井の離脱も指揮官が描いたシナリオの狂わせる結果になった。

そうした中で新外国人ゴメスが674点を挙げ得点王に輝いたのは、せめてもの救いと言えよう。

### 小川が初めての全日本

#### リベロ酒井と2人選出

09年度の全日本登録メンバー35人が決まり、JTからウイングスパイカー小川旭、リベロ酒井大祐が選ばれた。また今年度の国際大会開幕戦となるワールドリーグ2009候補22人に小川が入った。最終的には19人がエントリーされる。同大会は6月13、14日、埼玉でのロシア戦で始まる。

◆J1リーグ結果◆

第1節	○4 (3-1, 1-1)	2横濱	日産ス
第2節	●2 (1-1, 1-2)	2大宮	広島ビ
第3節	●1 (0-1, 1-1)	2鹿島	カシマ
第4節	▽2 (2-1, 0-1)	2G大阪	万博
第5節	○4 (1-0, 3-1)	1柏	広島ビ
第6節	▽3 (1-3, 2-0)	3新潟	東北電

◆ヤマザキナビスコカップ◆

第1節	○1 (1-0, 0-0)	0浦和	広島ビ
-----	---------------	-----	-----

### 東京マラソン

## 梅木15位 尾方は棄権

東京マラソンは3月22日、8月の世界選手権代表選考会を兼ねて行われ、梅木蔵雄は2時間16分46秒で15位だった。北京五輪代表の尾方剛は悔しい途中棄権となった。

山口で3月15日に開かれた全日本実業団ハーフマラソンに6選手が出場、佐藤敦が1時間1分29秒で2位となり、10月に英国パーミンガムでの世界ハーフマラソンの出場権を獲得した。また、岡本直己は1時間2分16秒で7位、9月のグレートスコティッシュハーフマラソンの出場権を得た。

★田中が11位 金栗記念5000  
4日に金栗記念中長距離熊本大会が行われ、一般5000部に出場した田子康宏が13分53秒03で11位に入る力走を見せた。

### 佐藤 見事2位入賞

3月28日にヨルダンのアンマンであった世界クロスカントリリーディング大会の岡本直己が初出場した。アジア・クロスカントリリーディング大会では38分2秒で76位だったが、世界の舞台を経験したことで、いっそうの飛躍が期待されている。

### 中国電力陸上競技部

## 世界クロカン 岡本が初出場

### 「トップス広島」の 目指すものとは

正式名称  
NPO法人 広島トップススポーツクラブ  
ネットワーク

#### 「オール広島 オール・スポーツ」の実現

■すべての広島の人々が、すべての広島のスポーツ（チーム・選手）を応援するような、郷土愛あふれる広島の実現に向けて努力します

■多くの人々が、単一の競技種目にとどまらず、さまざまなスポーツに接する機会をつくり、する人・みる人・支えている人、すべての人で感動を分かち合い「スポーツって素晴らしい」「スポーツって楽しい」と思ってもらえるよう努力します

■そして、夢と潤いのある「スポーツ王国ひろしま」の実現と地域の活性化に貢献したいと考えています

■そのために、私たちが率先して、競技種目の枠を超え、協力していきます



#### \*ロゴマークの意味\*

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニアの選手がトップの選手を目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

## マツダスタジアムのイベントに参加 トップスの4団体選手ら

#### 《参加選手》

- ・中国電力陸上部 尾方 剛
- ・湧永製薬 山中 基、武藤剛、佐藤智仁
- ・広島メイプルレッズ 伊藤 瞳、植垣 暁恵、新城 明奈
- ・広島ガスバドミントン部 寺本 悦子、橋本 麻衣子、早川 由希子、後藤 舞、本山 祥子

新広島市民球場「MAZDA ZOOM-ZOOMスタジアム広島」完成を記念して2日、広島青年会議所のイベント「『烈 Dream On! ~今、誕生の時~』想いよ“旗”めけ! 新市民球場からはじめよう」が開かれた。

子供たちや障害者とともにトップス広島に加盟する中国電力陸上部、ハンドボールの湧永製薬、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部の4チームの選手ら19人が参加した。

加盟8チームが手形やメッセージを寄せた大きなカーブ横断幕「烈 フラッグ」作成に協力したほか、球場内を見学したり、参加者全員での大合唱などを行った。

広島の新しいスポーツ文化として注目される施設の今後の発展を願ってのイベント。広島県・市民の夢を乗せて素晴らしい戦いが見たいし、カーブ優勝につながることを期待したい。